



## 長編ドキュメンタリー映画

# 「太陽の塔（仮）」監督公募！

## 公募告知のお知らせ

### Introduction

“今すぐに、鉛筆と紙を手によればいい。それだけだ。”

長編ドキュメンタリー映画『太陽の塔（仮）』製作委員会（株式会社パルコ・公益財団法人岡本太郎記念現代芸術振興財団・株式会社スプーン）では、このたび『太陽の塔』をテーマにした長編ドキュメンタリー映画の制作を決定致しました（2018年公開予定）。本作では、岡本太郎の残した「太陽の塔」の持つ意味を、大阪万博から約半世紀の時を経て、改めて世に問いかけたいと考えます。つきましては、この作品を「太陽の塔」を心から愛する人たちで制作したいと考え、制作趣旨に賛同いただける監督を公募することとなりました。本物の「太陽の塔」への愛情と映像制作の経験・技術を持つ方であれば、年齢、国籍、性別は問いません。みなさまの“太陽の塔への熱意”を、製作委員会一同楽しみにお待ちしております。

主催：長編ドキュメンタリー映画『太陽の塔（仮）』製作委員会

（株式会社パルコ・公益財団法人岡本太郎記念現代芸術振興財団・株式会社スプーン） \*2016年4月現在  
制作プロダクション：スプーン

監督募集告知の掲載に関するお問合せ：(株)パルコ エンタテインメント事業部 コンテンツ事業担当  
曾根まで tel:03-3477-8911 e-mail: prc02805@nifty.com

監督募集に関する詳細（公募要領）につきましては、  
公式Webサイト [taiyo-no-to-movie.jp](http://taiyo-no-to-movie.jp) をご掲載ください。

企画意図

1970年、歴史的な巨大イベント「大阪万博」のド真ん中に、前代未聞の怪塔「太陽の塔」が現れる。万博のシンボル《大屋根》を突き破り、70mの高みから会場を睥睨する姿は、いまま語り継がれる高度成長期を象徴する光景だ。

同時代を生きた日本人で「太陽の塔」を知らぬ者はいない。見れば、だれもが「あそこ」を思い出す。空前絶後のスーパーアイコンなのだ。こんな芸術作品はおそらく世界にも例がないだろう。しかし、いやだからこそ、メッセージは伝わらなかった。「太陽の塔」はだれもが知っていたが、その意味を感知できた者はほとんどいなかった。高度成長に沸く当時の日本には早すぎたのかもしれない。だがいまこそ必要なのだ。「太陽の塔」の出番はまさにこれからなのではないか？

いま塔内を再生させ、一般公開する計画が進んでいます。この機会をとらえて、「太陽の塔」を題材にしたバラボーなドキュメンタリー映画を作りたいと考えています。「太陽の塔」とはなにか？

私たち『太陽の塔（仮）』製作委員会は、この映画を「太陽の塔」への愛情をもつ者だけで創りたいのです。その深い「太陽の塔」への愛情を作品に投影してくださる監督を公募致します。映像制作の経験と技術をもつ方で、本物の愛情と創造的なアイデアさえあれば、あの時代を知らない世代でも映画界の住人でなくとも構いません。

「太陽の塔」に賭けた岡本太郎の情熱はいまも冷凍保存されたままです。それをいかに解凍するか。この課題に挑む才能と情熱をお待ちしております。

長編ドキュメンタリー映画映画『太陽の塔（仮）』製作委員会一同

監督募集告知の掲載に関するお問合せ：(株)パルコ エンタテインメント事業部 コンテンツ事業担当  
曾根まで tel:03-3477-8911 e-mail: prc02805@nifty.com

監督募集に関する詳細（公募要領）につきましては、  
公式Webサイト [taiyo-no-to-movie.jp](http://taiyo-no-to-movie.jp) をご覧ください。

## 長編ドキュメンタリー映画『太陽の塔 (仮)』監督公募要項

- 採用条件 制作期間 2016年秋～2017年12月（予定）  
公開時期 2018年春（予定）  
報酬 製作委員会規定の監督料及び、二次使用に関しては規定の印税とする  
著作権 長編ドキュメンタリー映画『太陽の塔 (仮)』製作委員会に帰属する
- 選考手順 1. 映像資料等にて一次選考を行い、数名を選定  
2. 面接と指定の提出物による二次選考により最終候補者を選定  
3. 製作委員会との具体的な条件確認（スケジュールほか）を経て登用  
※ 登用予定者の経験、技術水準等の状況によっては、別途起用する経験豊富なプロとの共同作業を採用条件とすることがある。
- 応募資格 ①監督もしくは演出の立場で映像制作の実務経験がある者。作品のジャンルは問わないが、映画館・学校・イベントなどのパブリックな場で上映・放映（オンエア）されたものに限る。プライベートでの上映作品は実務経験に含まない。  
②国籍は問わないが、制作進行の都合上、日本語でコミュニケーションが可能な者。また制作時に都内に通える者。
- 主催 長編ドキュメンタリー映画『太陽の塔 (仮)』製作委員会  
（株式会社パルコ・公益財団法人岡本太郎記念現代芸術振興財団・株式会社スプーン） \*2016年4月現在
- 応募方法 公式Webサイト（taiyo-no-to-movie.jp）の応募フォームより、下記の課題2点を提出すること
- 課題 ①2分以内のPR動画  
\*太陽の塔への思い、本作品への情熱、監督としてのビジョンなど、アピールポイントを応募者本人がカメラに向かって語りかけたもの。構成は自由だが、本人が登場し、自ら語らなければならない。（2分以内）  
\*TOPカットに、本人氏名のタイトルを入れる。  
\*ファイル名は「本人氏名（半角英数）+拡張子」とする。  
\*動画形式はMOVまたはWMVに限る（ファイルサイズの上限は500MB）。  
\*データ便又は動画共有サイトを利用し、対象データのURLをご記載ください。
- ②プロフィール資料…応募フォームに必要事項を記載
- 一次選考 映像資料等にて第一次選考を行い、数名を選定する。  
通過者本人に通知するとともに、7月20日(予定)に公式Webサイトで発表。  
（サイト上での発表を希望しない者はイニシャル表記での発表とする）
- 二次選考 一次選考通過者を対象に、都内にて8月26日(金)～28日(日)の間に面接を行う予定（調整可）。なお、その際には指定の提出物を作成・用意のうえ、持参。また面談会場への交通費を支給する。詳細は一次選考通過者に別途指示するものとする。
- 結果発表 二次選考で選ばれた最終候補者との確認・調整の後、公式サイト上で発表。
- その他 \*結果に対する個別の問い合わせは受け付けない。  
\*長編ドキュメンタリー映画『太陽の塔 (仮)』製作委員会は、応募作品についての展示・出版・放送・上映等に関する専用使用权を有する。
- 質疑回答 行わない  
\*緊急時はメール(info@taiyo-no-to-movie.jp)にて問い合わせ可。

課題の提出受付：2016年6月1日(月)15:00より6月30日(木)23:59まで（公式webサイトより応募）